

目 次

まえがき

序 章 研究の背景・目的・方法・論文の体系	1
第1節 研究の動機	1
第2節 研究の背景	2
第3節 研究目的・方法・意義	25
第4節 論文の体系と主な内容	29
第1章 統合失調症家族	32
第1節 統合失調症の家族研究	32
第2節 統合失調症家族の制度的位置	36
第3節 家族会とニーズ調査	42
第2章 統合失調症の生活障害と家族によるケア	48
第1節 統合失調症の生活障害	48
第2節 ケアの先行研究と用語の定義	66
第3節 同居家族による統合失調症ケア	89
第3章 隣接領域におけるケアの脱家族化をめぐる実証研究	97
第1節 ケアの脱家族化実証研究の抽出	97
第2節 全身性障害ケアの脱家族化実証研究のレビュー	102
第3節 知的障害ケアの脱家族化実証研究のレビュー	112
第4節 薬物依存症ケアの脱家族化実証研究のレビュー	138
第5節 3領域におけるケアの脱家族化の比較検討	160

第4章 統合失調症ケアの脱家族化実証研究 167

第1節 統合失調症母親6名への質的調査 167

第2節 統合失調症本人9名への質的調査 192

第3節 統合失調症ケアの脱家族化の特徴 212

**第5章 統合失調症ケアの脱家族化ソーシャルワークの
実践モデル** 222

第1節 統合失調症ケアの脱家族化実証研究の概要 222

第2節 ケアの脱家族化ソーシャルワークの実践モデル 226

第3節 親によるケアから社会的ケアへの移行プロセス 241

終章 総合考察 251

第1節 実践モデルの理論的妥当性の検討 251

第2節 ソーシャルワークへの示唆 253

第3節 本研究の意義と残された課題 266

あとがき

文 献

索 引